

## 答 辞

冬の寒さも和らぎ、仄かに暖かい空気を感じて心が浮き立つ季節となりました。本日は、諸先生方、ご来賓の皆様のご臨席を賜り私たち卒業生のために、このような式典を挙行していただき誠にありがとうございます。また、船田理事長並びに渡邊学長におかれましては、温かいご祝辞を頂きましたこと、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

四年前に、私たちはこの作新学院大学の一員として、新たな一步を踏み出しました。「四年間という長い時間をどのように過ごしていこう」と、期待と不安で胸が満たされた入学式を思い出します。自分で時間割を組む大学のシステムや、少人数制の講義など、最初は初めての経験ばかりに戸惑っていましたが、先生方や仲間の力を借りて、徐々にこの大学での生活に馴染んでいきました。毎日の講義に加え、サークルや部活動、ゼミナール、資格取得講座など、大学生活は日々新しい学びに満ちており、充実していました。そして卒業式を迎えた今は、その充実した日々が瞬く間に過ぎ去っていったように感じています。大学でのこの四年間は私たちにとって有意義で大切な時間であり、良き思い出であり、今は確かに、これからの人生の糧となっております。

私が四年間の大学生活において一番大切にしたことは、「自分を貫いて、後悔しないようにすること」です。この作新学院大学で勉学に励める貴重な機会を無駄にせず、多くを学んで、いずれ社会人となる自身の糧にしたいと強く思っていたためです。そしてこの目標を達成するために、「何事も早めに取り掛かること」、「自分のやりたいことをやること」を心掛けました。入学前から様々な資格取得を考えていた私は、一年次から司書課程や、資格取得講座を受講していきました。「今出来ることは後回しにせずに取り組んでいこう！」四年間それを貫いてきたつもりです。その結果、お陰様で司書資格や情報技術者、簿記等の資格を取得することが出来ました。時間割に組み込むのには苦勞しましたが、「後回しにせず！」の精神で乗り切りました。ゼミナールの卒業研究はプログラムの作成でした。「自分が作りたい、使いたいプログラム」ということで音楽再生プレーヤーの作成に取り組みました。一から自分でプログラムを作る初めての経験で分からないことだらけでしたが、自分が一番好きなことをすることでモチベーションを保ち、楽しくやり遂げることができました。「何事も早めに取り掛かること」と「自分のやりたいことをやる」という心掛けは貫けたつもりでいます。後悔の無い、晴れやかな気持ちでこの場に立つことが出来ております。

そして今強く感じていることは、周りの方の支え無しには、これらの目標は達成出来ていなかっただろうということです。先生方をはじめ多くの方のご支援があったからこそ、講義・講座の内容を理解し、資格を取得することができ、望みを叶え、後悔の無い大学生活を送ることが出来たのだと思っております。大学生活において何を叶えたかったのか、何に出会えたのかは卒業生皆それぞれだと思いますが、その中で多くの方に支えられてきたという想いは誰しもあるはずです。そうした支えがあったからこそ私たちは晴れて卒業を迎え、今この場に集うことが出来ています。そのことに、心からの感謝と喜びを感じております。この先社会人として生きていく中で、私たちは多くの困難に直面することと思います。その際には、作新学院大学で多くの方々にご指導いただいたこと、自身が培ってきたことを存分に発揮し、一人の社会人として社会に貢献し、更なる感謝と喜びを目指して人生を歩んでいきたいです。それが、お世話になった方々への最大の恩返しになると考えております。

最後になりますが、今日まで未熟な私たちをご指導くださいました諸先生方、学生生活の支援にご尽力してくださいました職員の方々、大変お忙しい中ご臨席賜りました御来賓の皆様にご礼を申し上げますとともに、大学卒業を迎えた今日まで成長を見守り続けてくれた家族に感謝致します。そして、作新学院大学の今後の益々の発展を祈念致しまして、卒業生代表の答辞とさせていただきます。

令和二年三月十五日  
作新学院大学 経営学部経営学科  
第二十七期卒業生代表 福田 愛莉

